

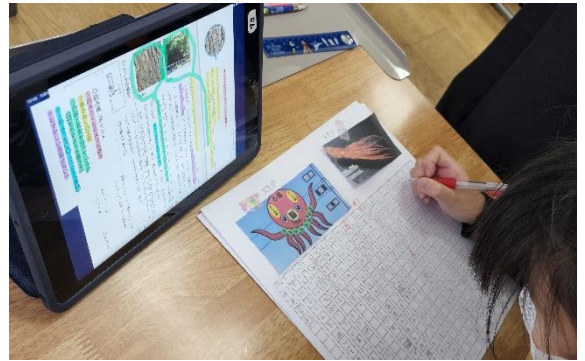
管内には、公立幼稚園が2園、公立認定こども園が2園、小学校が17校、中学校が10校、高等学校が4校、特別支援学校が1校あります。

また、スポーツ団体、文化団体、女性団体等の社会教育団体も多数あります。伝統的な祭りや伝統芸能も多く、大人から子どもへと代々受け継がれています。

檜山教育局では、北海道が目指す教育の基本理念である「自立」と「共生」の実現に向けて、「檜山の特色を生かし、一人一人に寄り添いながら、学びを支える」を管内教育推進のテーマとし、檜山の未来を拓く人材の育成に向けて取組を展開しています。

各学校においては、個別最適な学びや協働的な学びの一体的な充実を目指した教育活動に取り組んでいます。

また、今日的な教育課題に対応した学習や体験活動の機会の充実を図る取組についても積極的に行われています。



1人1台端末を活用した個別最適な学びの充実
(江差町立江差小学校)



ICTを活用したオンライン授業の取組
(せたな町立久遠小学校)



ロボットカーを利用したプログラミング教室
(乙部町)



対話とICTの活用による協働的な学びの充実
(今金町立今金中学校)

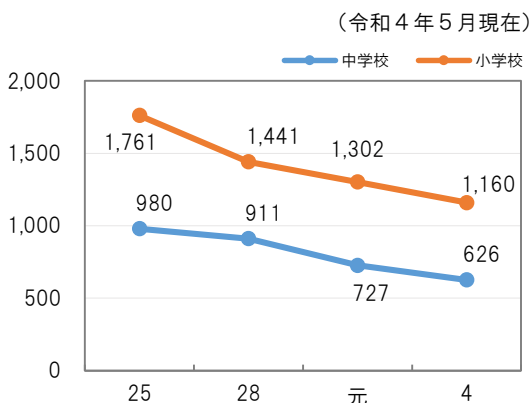


ニュージーランド海外研修の様子
(北海道ノ国高等学校)



親子体験フェスタinあっさぶ川
(厚沢部町)

●小・中学校児童生徒数の推移（単位：人・年度）



「北海道教育庁檜山教育局調べ」

●国指定文化財

（令和4年12月末現在）

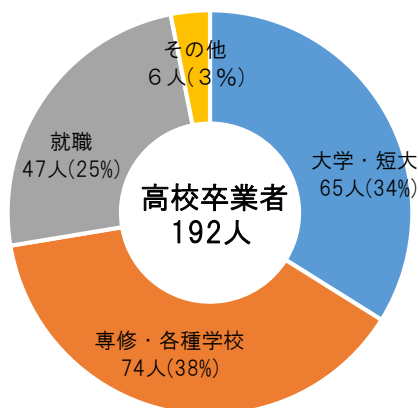
名称	種別	所在地	指定年月日
ヒノキアスナロ及びアオトドマツ自生地	天然記念物	江差町	大正11.10.12
鶴川ゴヨウマツ自生北限地帯	天然記念物	厚沢部町	昭和3.2.7
旧中村家住宅	重要文化財	江差町	昭和46.12.28
北海道美利河1遺跡出土品	重要文化財	今金町	平成3.6.21
旧笹浪家住宅	重要文化財	上ノ国町	平成4.1.21 平成30.12.25
上ノ国寺本堂	重要文化財	上ノ国町	平成5.4.20
北海道上ノ国勝山館跡出土品	重要文化財	上ノ国町	平成20.7.10
ピリカ遺跡	史跡	今金町	平成6.4.26
松前氏城跡、福山城跡、館城跡	史跡	松前町 厚沢部町	平成14.9.20
上ノ国館跡（花沢館跡、洲崎館跡、勝山館跡）	史跡	上ノ国町	平成18.3.31
松前神楽	無形民俗文化財	せたな町 今金町	平成30.3.8
計 11件			

●主な郷土芸能

（令和4年12月末現在）

町名	郷土芸能名	町名	郷土芸能名
江差町	江差沖揚音頭	上ノ国町	大留鹿子舞
	江差鮫踊り		滝沢豊漁太鼓
	五勝手鹿子舞		石崎奴
	江差土場鹿子舞		上ノ国昔踊り
	江差田沢鹿子舞	厚沢部町	安野呂鹿子舞
	江差追分		当路鹿子舞
	江差追分踊り		土橋鹿子舞
	江差三下り		上俄虫鹿子舞
江差餅つき囃子	目名権現獅子舞	せたな町	久遠神楽
乙部町	豊浜三鹿鹿子舞		北海久遠太鼓
奥尻町	奥尻祈漁太鼓		松前神楽
今金町	今金狩場太鼓		二俣風神太鼓
	神丘黎明太鼓		浮島竜神太鼓
	松前神楽		三杉太鼓

●高校卒業後の進路状況（令和4年3月現在）



「北海道教育庁檜山教育局調べ」

●管内の学力平均正答率（令和4年）

小学生

	国語	算数	理科
檜山	71.8	67.7	71.2
北海道	64	61	63
全国	65.6	63.2	63.3

中学生

	国語	数学	理科
檜山	71.1	46.6	48.1
北海道	69	49	49
全国	69.0	51.4	49.3

●管内の体力合計点（令和4年）

小学生

	男子	女子
檜山	54.55	57.09
北海道	51.74	53.60
全国	52.28	54.31

中学生

	男子	女子
檜山	42.13	47.72
北海道	38.97	43.53
全国	41.04	47.42

「北海道教育庁檜山教育局調べ」

●福祉

少子高齢化と人口減少が進行する中、保健・福祉サービスの充実を図り、高齢者・障がい者の介護や福祉、子どもを健やかに育てる環境の整備、地域と共に支え合い、誰もが安心して、いきいきと暮らすことのできる環境づくりに取り組んでいます。

●障がい者（児）福祉

障がい福祉施策のうち、管内の働く障がい者の賃金は、直近5か年4～5万円台で推移しており、これは全道平均の2万円台後半を大きく上回っています。

また、働く障がい者を側面から支援するため、授産製品の展示・販売などを通じて働く障がい者や障がいを知ってもらうイベント「檜山しょうがいウィーク」を毎年開催しています。

●子ども・子育て支援

子育て世代を社会全体で支える環境づくりに取り組んでいます。

子育て支援の1つとして、管内では江差町、奥尻町、今金町、せたな町で「どさんこ・子育て特典制度」が実施されています。また、全道地域協賛施設として、管内では江差町・今金町・せたな町の3つの施設が登録されており、施設を訪れた全道の子育て世帯等への特典サービスが実施されています。

このほか、北海道の少子化の現状や、対策の必要性等を周知するため、道南うみ街信用金庫本店で「少子化対策パネル展」を実施しました。

●高齢者福祉

檜山管内の高齢化率（65歳以上の人口の割合）は、令和4年1月1日現在で43.2%と、前年同期に比べ0.4ポイント増加しており、全道の高齢化率32.3%を10.9ポイント上回っています。

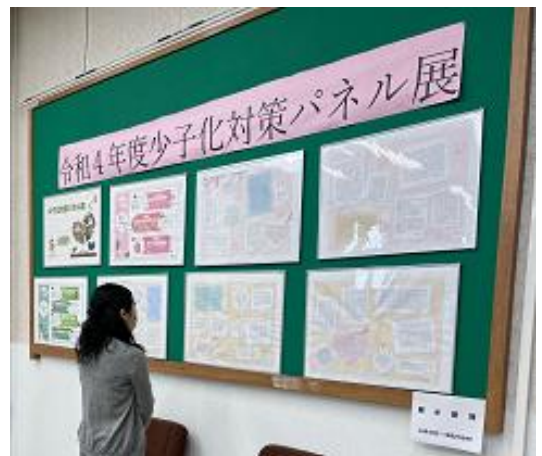
令和3年度からの第8期介護保険事業支援計画のもと、引き続き地域のニーズに応じた質の高いサービス提供体制の確保に取り組むとともに、高齢者の自立した生活につながる各町の取り組みを支援しています。

●生活保護

管内の保護率の動向は、平成23年度までは右肩上がりでしたが、それ以降は33%前後で推移し、平成27年の33.7%をピークに最近では下降傾向にあり、令和3年は27.2%と全道平均の29.8%を下回っています。



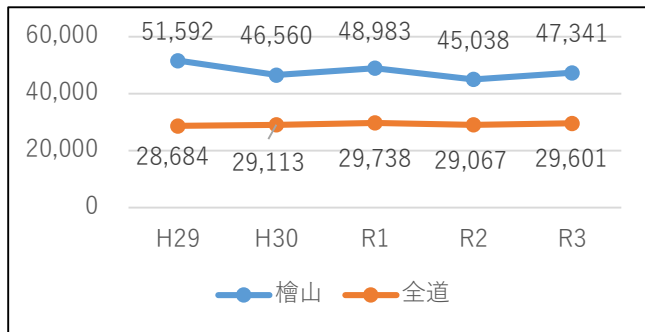
「檜山しょうがいウィーク2022」
(檜山振興局)



「少子化対策パネル展」
(道南うみ街信用金庫本店)

※ パーミルとは、1,000分の1を1とする単位。
(1% = 0.1%)

●障がい者就労支援事業所の平均賃金（単位：円）



「檜山振興局保健環境部社会福祉課調べ」

●高齢化の状況

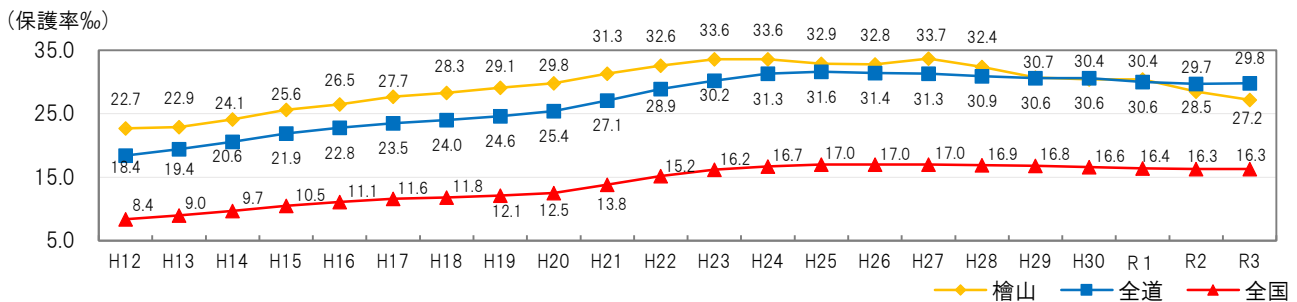
(令和4年1月1日現在)

	総人口(a)	65歳以上人口		
		人数(b)	高齢化率(b/a)	前年同期高齢化率比較
檜山	33,406人	14,432人	43.2%	+ 0.4%
全道	5,183,687人	1,674,286人	32.3%	+ 0.2%

「檜山振興局保健環境部社会福祉課調べ」

●生活保護の状況（推移）

※算出方法：「1ヶ月で保護した人数」÷「人口」×1,000



	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
被保護世帯数	846	853	871	899	916	903	869	876	895	927	950	964	964	941	945	962	931	880	880	845	800	760
被保護人数	1,269	1,263	1,309	1,370	1,393	1,378	1,335	1,344	1,341	1,383	1,409	1,423	1,393	1,333	1,310	1,314	1,236	1,144	1,106	1,071	993	933

「檜山振興局保健環境部社会福祉課調べ」

●社会福祉施設等設置状況

(令和4年10月1日現在)

	高齢者施設等										障害福祉サービス			児童福祉施設			計					
	老人福祉				介護保険					その他	訪問系	日中活動系	居住系	保育所	児童館	幼保連携型認定こども園						
	養護老人ホーム	軽費老人ホーム(ケアハウス)	有料老人ホーム	生活支援ハウス	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	地域密着型介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	介護老人保険施設	認知症対応型共同生活介護(認知症高齢者グループホーム)	地域包括支援センター	サービス付き高齢者向け住宅												
江差町	1	1	1		1		1	2	1			4	11	5		3		2		1		34
上ノ国町					1			2	1			5				1		1				11
厚沢部町			1		1	2		2	1			4	1							1		13
乙部町					1			2	1			4	4	1		1						14
奥尻町				1	1				1			2	4									5
今金町					1		1	2	1			2	3	4						1		15
せたな町	1			2	2			3	1	1		5	1	2		2				1		21
計	2	1	2	3	8	2	2	13	7	1		26	20	12	7	3		4				113

「檜山振興局保健環境部社会福祉課調べ」

「安心して心豊かに暮らすことのできる地域づくり」を目指して、檜山南部5町（江差、上ノ国、厚沢部、乙部、奥尻の各町）は江差保健所が、檜山北部2町（せたな、今金の各町）は八雲保健所が、地域住民の健康の保持及び増進を図るため、「地域保健・食品衛生・環境衛生の向上、医療及び薬事に係る事項、歯科保健・精神保健の向上、感染症の予防」など、各種取組を進めています。

南檜山地域では全道に比べて、糖尿病の医療費が高いことを踏まえ、かかりつけ医や地域の保健医療関係者が連携し、糖尿病腎症を中心とした糖尿病合併症の重症化を予防するため、平成26年3月から「南檜山糖尿病重症化予防プロジェクト」に取り組んでいます。

また、在宅医療提供体制が充実し、在宅での療養を選択できる住民を増やすべく、多職種連携の取組を進めます。具体的には、住み慣れた地域で適切な医療や介護の支援を受けながらあずましく暮らすことができるよう、保健・医療・福祉に携わる多職種が「南檜山医療・介護連携推進会議」に集い、参加者がお互いの思いを理解を出来る連携づくりを行っています。

救急医療体制については、地域センター病院である道立江差病院・八雲総合病院が二次救急に対応し、三次救急は、主に函館市内の医療機関が担っていますが、搬送に救急車で2時間以上かかる地域もあることから、救命率の向上を図るため、市立函館病院を基幹病院としたドクターヘリが運航され、医療体制の充実が図られています。

また、高齢化が一段と進行する2025年を見据えて、医療・介護サービスの提供体制の構築を進めるため策定した「北海道医療計画」のもと、急性期から回復期、在宅医療に至るまで切れ目ないサービスが提供される体制の構築を目指すとともに、引き続き医療提供体制の確保に取り組んでいます。

道立江差病院を中核として設立された地域医療連携推進法人「南檜山メディカルネットワーク」においては、医療機関が連携し住民が将来にわたり住み慣れた地域で必要な医療・介護サービスを受けられる体制の構築を目指し、各種取組を推進しています。

新型コロナウイルス感染症については、管内各町・関係機関等と連携し、感染状況に応じた適切な対策を行っています。



ドクターヘリ



南檜山糖尿病重症化予防プロジェクト

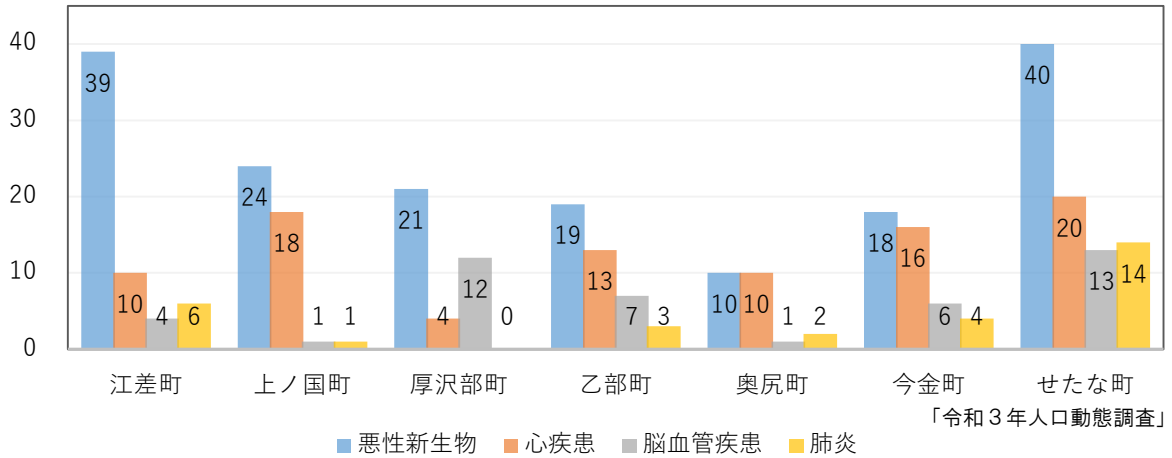


南檜山医療・介護連携推進会議

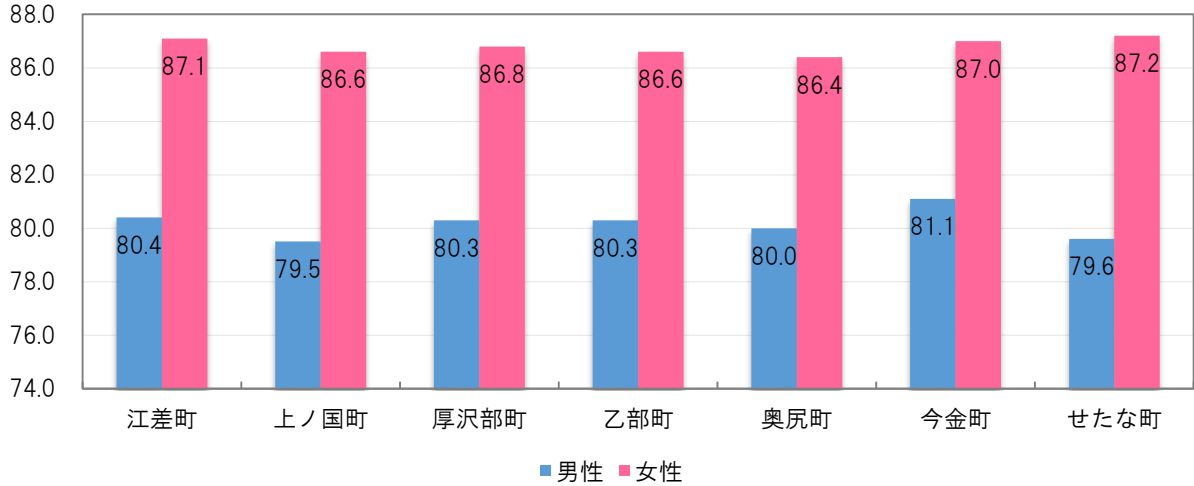


感染症予防研修会

●主な死因と死亡数



●平均寿命



「平成27年生命表」

●保健医療施設数 (令和4年10月1日現在)

	病院	診療所※	歯科診療所	訪問看護 ステーション	介護老人 保健施設
江差町	2	5	3	1	1
上ノ国町		3	2		
厚沢部町	1	1	1		
乙部町	1	1	1	1	
奥尻町	1	3			
今金町	1	5	2		1
せたな町	2	5	4	1	
計	8	23	13	3	2

※診療所数には、特養等の医務室も含まれています。

「檜山振興局保健行政室及び渡島総合振興局八雲地域保健室調べ」

● 脱炭素社会への貢献

管内には全国有数のポテンシャルを活かした風力発電用の風車が多数設置されており、洋上風力発電誘致の気運も高まっています。

また、令和4年11月に奥尻町が環境省の指定する脱炭素先行地域に選定されたほか、管内7町のうち4町（令和5年1月1日現在）が2050年までにCO2を実質ゼロを目指すゼロカーボンシティ宣言を表明するなど、各町において積極的な取組が進められています。



夷王山の陸上風車（上ノ国町）

● きれいな水環境

管内の北部に流れる「後志利別川」は、全国一級河川水質現況において、水質が最も良好な河川として、これまでに全国最多の21回選出されており、日本屈指の清流です。

● 環境衛生

ごみ（一般廃棄物）の総排出量は、令和2年度で13,403tと全道の約0.7%を占め、一人一日当たりのごみ排出量は1,077gと、全道平均の943gより134g多くなっています。

ごみのリサイクル率は5.8%と、全道平均の23.4%を大きく下回っています。この背景には、ごみ排出量と再資源化の費用対効果等が背景にあると考えられます。

また、汚水処理人口普及率は、令和3年度末で74.9%と全道の96.2%を下回っています。



五勝手地区における環境美化活動（江差町）

数字で見る檜山

hiyama2023

● ごみ（一般廃棄物）処理の状況

区分	総人口 (人)	ごみ総排出量 (t)		一人一日 当たり 排出量 (g/人日)	ごみ処理量 (t)					中間処 理後再 生利用 (t)	リサイ クル率 (%)	
		集団回収量			直接焼却	直接 最終処分	その他	直接 資源化	合計			
全道計	5,262,858	1,810,945	109,004	943	1,086,476	129,497	450,643	34,612	1,701,228	280,672	23.4	
檜山計	R2	34,102	13,403	266	1,077	8,439	1,139	3,364	1t未満	12,942	506	5.8
	R1	35,028	13,802	276	1,053	8,355	1,189	3,912	1t未満	13,456	551	6.0
	H30	36,333	14,380	352	1,084	8,599	1,341	3,476	1t未満	13,416	573	6.7

(注1) その他は、中間処理後の残渣を埋立・焼却した量と中間処理により資源化した量

(注2) リサイクル率 = (集団回収量 + 直接資源化量 + 中間処理後再生利用量) ÷ (ごみ処理量 + 集団回収量)

「一般廃棄物処理事業実態調査（環境省）」

● 汚水処理人口普及率

区分	行政人口 (人)	処理人口 (人)	普及率 (%)	処理の内訳 (%)				
				公共下水道	農業集落 排水施設	漁業集落 排水施設	合併処理 浄化槽	
全道計	5,156,058	4,960,095	96.2	91.8	1.1	0.2	3.2	
檜山計	R3	32,947	24,686	74.9	51.7	6.2	5.3	11.6
	R2	33,805	25,198	74.5	51.5	6.3	5.5	11.3
	R1	34,607	25,514	73.7	50.9	6.2	5.5	11.2

「北海道建設部調べ」

令和4年の道内における交通事故死者数は、前年比5人減の115人でした。

同年、檜山管内では15件の人身事故が発生し、交通事故死者数は前年比6人減の0人でした。

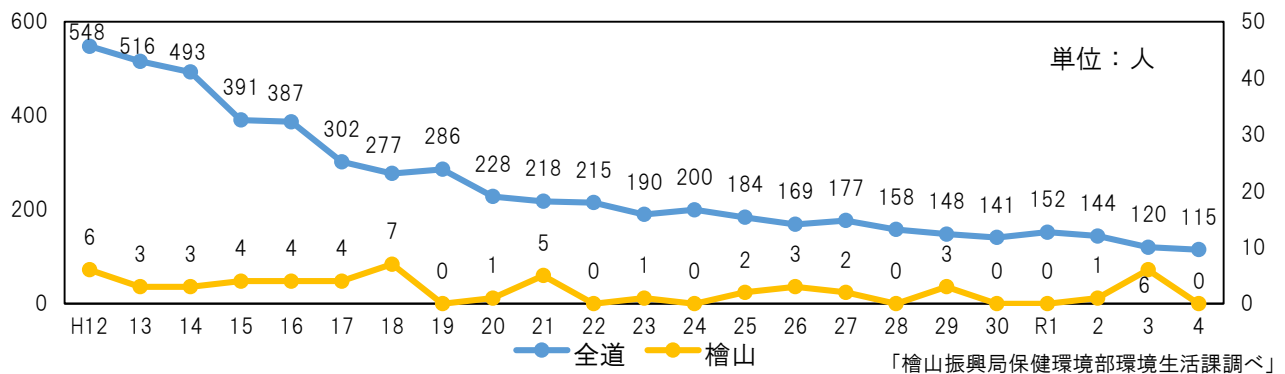
(過去最多は昭和45年の16人)

令和4年7月13日に上ノ国町が交通事故死ゼロ5,000日を達成しました。



江差町役場前での交通安全運動(江差町)

●全道及び管内の交通事故死者数の推移(暦年)



●管内町・振興局別人身事故発生状況(暦年)

区分	事故発生件数		死者数		負傷者数	
	R3	R4	R3	R4	R3	R4
江差町	5	3	1	0	5	5
上ノ国町	1	1	0	0	1	1
厚沢部町	2	3	1	0	3	4
乙部町	1	2	1	0	0	4
奥尻町	0	1	0	0	0	1
今金町	6	1	1	0	5	1
せたな町	7	4	2	0	6	4
檜山計	22	15	6	0	20	20
空知	398	415	9	11	477	497
石狩	4,721	5,082	22	38	5,387	5,775
後志	270	256	11	8	334	328
胆振	644	571	14	7	751	682
日高	53	54	4	2	63	68
渡島	599	552	12	6	710	651
上川	619	574	11	16	745	694
留萌	17	38	2	1	22	44
宗谷	40	42	2	2	50	47
オホーツク	235	206	7	6	270	248
十勝	454	404	11	7	520	446
釧路	201	212	6	10	216	238
根室	31	36	3	1	33	47
北海道	8,304	8,457	120	115	9,598	9,785
全国(概数)	305,196	301,193	2,636	2,610	362,131	356,419

●全国の交通事故死者数(年間ワースト順位)

暦年/順	1	2	3	4	5
R4※('22)	大阪 141	愛知 137	東京 132	千葉 124	兵庫 120
R3('21)	神奈川 142	大阪 140	東京 133	千葉 121	北海道 120
R2('20)	東京 155	愛知 154	北海道 144	神奈川 140	千葉 128
R元('19)	千葉 172	愛知 156	北海道 152	兵庫 138	東京 133
H30('18)	愛知 189	千葉 186	埼玉 175	神奈川 162	兵庫 152
H29('17)	愛知 200	埼玉 177	東京 164	兵庫 161	千葉 154
H28('16)	愛知 212	千葉 185	大阪 161	東京 159	北海道 158
H27('15)	愛知 213	大阪 196	千葉 180	神奈川 178	北海道 177
H26('14)	愛知 204	神奈川 185	千葉 182	兵庫 182	埼玉 173
H25('13)	愛知 219	千葉 201	兵庫 187	静岡 184	北海道 184
H24('12)	愛知 235	埼玉 200	北海道 200	東京 183	大阪 182

「檜山振興局保健環境部環境生活課調べ」

※データ(令和4年)は、速報値のもの

● 自然

管内では、「檜山道立自然公園」と「狩場茂津多道立自然公園」の2つの公園が道立自然公園に指定されており、雄大な自然の中で悠久の時の流れを感じることができます。

海岸地域では、強風と波浪によって形成された奇岩や岩石海岸地形が随所に見られます。また、道南の最高峰「狩場山」では様々な高山植物群落を楽しむことができます。

区分	檜山	狩場茂津多
指定年月日	昭和35年 (1960年) 4月20日	昭和47年 (1972年) 6月23日
指定面積	17,073 ha	22,647 ha
関係町	江差町、上ノ国町、 乙部町、奥尻町、 八雲町(熊石)(※)	せたな町 島牧村(※)

※八雲町は渡島総合振興局管内、島牧村は後志総合振興局管内



三本杉岩（狩場茂津多道立自然公園）



かもめ島（檜山道立自然公園）

● バードウォッチング

日本海に面した江差町の「かもめ島」は、季節を問わず、131種類の野鳥が観察できる隠れた探鳥地です。

振興局では、江差町内の道の駅などの観光拠点に、観察記録を画像で紹介するデジタルフォトフレームを貸し出し、野鳥の素晴らしさを発信しています。



デジタルフォトフレーム

● ヒグマ対策

管内はヒグマの生息域と人との距離が近いこともあり、近年は年間200件以上のヒグマの出没が報告されています。

また、農作物被害もあり、振興局では電気柵の貸出を行うなど被害防除を推進しています。

過去には、人身事故も発生しており、人とヒグマの軋轢を軽減することが課題となっています。



電気柵

● ヒグマ出没件数

年度	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4※ (2022)
件数	165	211	216	221	265	249	244	253	215

※R4年度の数値は、令和4年12月末日の速報値

「檜山振興局保健環境部環境生活課調べ」

●災害と防災態勢

平成5年7月12日に発生した北海道南西沖地震では、奥尻町を中心に、死者・行方不明者219名を出すなど、檜山地域は甚大な被害を受けました。

近年では、令和4年8月に発生した大雨災害により、今金町における24時間降水量が観測史上最大を記録し、一時は市街地の一部が水没状態となったほか、収穫前の農作物にも甚大な被害が生じました。

また、国民保護の対策として、同年10月、近年相次ぐ弾道ミサイルの発射を想定した住民避難訓練が江差町で実施されました。

檜山振興局では、管内各町をはじめ函館地方気象台や陸上自衛隊第28連隊など防災機関と連携を取りながら、災害発生時の対応にあたるとともに、管内各町の協力を得ながら、防災対策の拡充に取り組んでいます。

自衛隊災害派遣の状況

期間	場所	内容
R1.5.31	今金町	行方不明捜索
H25.8.18~19	厚沢部町	給水支援
H24.11.5~7	せたな町	行方不明捜索
H23.4.14	上ノ国町	行方不明捜索



ミサイル避難訓練（江差町）



大雨災害の被害状況（今金町）

各町の消防団員 (単位：団、人)

町名	団名	分団数	団員数
江差町	江差町消防団	7	122 (0)
上ノ国町	上ノ国町消防団	9	100 (0)
厚沢部町	厚沢部町消防団	3	103 (0)
乙部町	乙部町消防団	4	90 (0)
奥尻町	奥尻町消防団	4	74 (0)
今金町	今金町消防団	2	79 (0)
せたな町		10	199 (9)
	せたな町北檜山消防団	4	87 (0)
	せたな町大成消防団	4	57 (9)
	せたな町瀬棚消防団	2	55 (0)
合計		39	767 (9)

R4.4.1現在

() 女性団員数で内数

「檜山振興局地域創生部地域政策課調べ」

●消防

檜山広域行政組合消防本部と管内の7消防署・4出張所の消防士153名と地域住民による9消防団767名が、消火や救急救助などにあたり、日夜、地域住民の生命・財産を守っています。

●自主防災組織

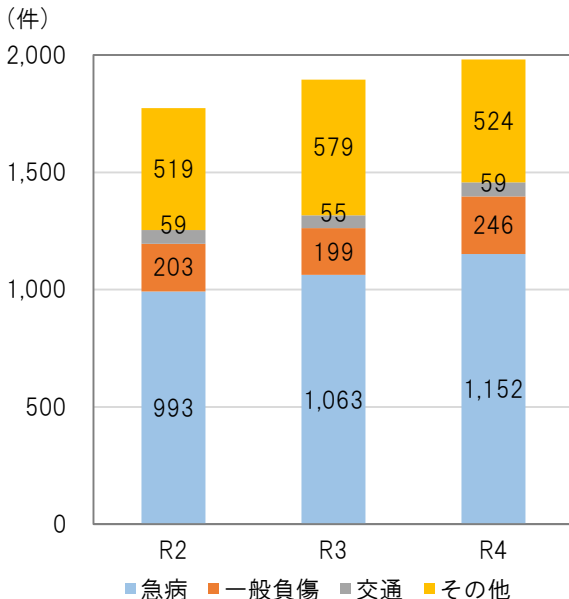
自主防災組織は、「自分たちのまちは自分たちで守る」という心構えで、地域住民が自発的に防災活動を行う町内会などの組織です。

災害発生時は、自主防災組織、ボランティア、企業などが「共助」により、復旧に取り組むことが重要です。

数字で見る檜山

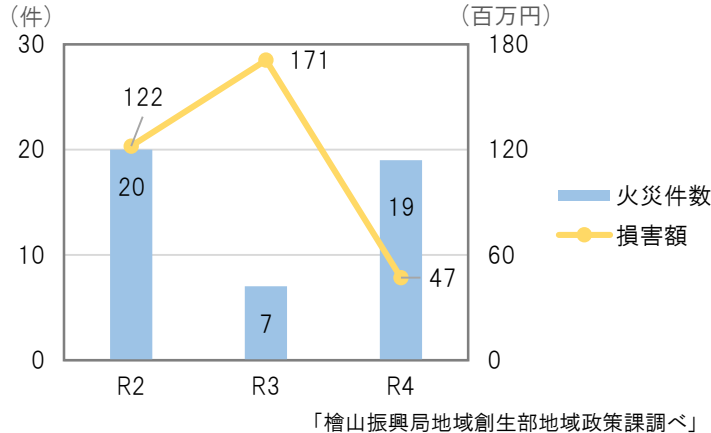
hiyama2023

●救急出動状況



「檜山振興局地域創生部地域政策課調べ」

●火災現況



「檜山振興局地域創生部地域政策課調べ」

●自主防災組織率

	全国	北海道	檜山
R2	84.3	61.4	59.9
R3	84.4	64.0	61.3
R4	84.7	64.2	61.2

「檜山振興局地域創生部地域政策課調べ」

管内の道路は、太平洋側の函館市に通じる国道227号線や、管内を南北に縦断する国道229号線など、他地域に通じる国道と道道・町道から構成されています。

都市部との移動時間の短縮が課題となっており、高規格幹線道路である函館・江差自動車道などの早期整備が望まれています。

陸路における公共交通は、平成26年5月のJR江差線の廃線に伴い、路線バスや予約バス(デマンドバス)、タクシーで維持されています。

奥尻島は、江差港・瀬棚港とフェリー航路(平成31年度から瀬棚-奥尻航路は休止中)で、函館空港・丘珠空港と航空路で結ばれています。

港湾は、地方港湾として江差港、瀬棚港、奥尻港の3港があり、フェリーの発着、地域産品や生活物資などの移出入の拠点として重要な役割を担っています。



「道道江差木古内線」(上ノ国町)



「路線バス」(函館バス)



「奥尻空港」(奥尻町)



「予約バス」(せたな⇄八雲)



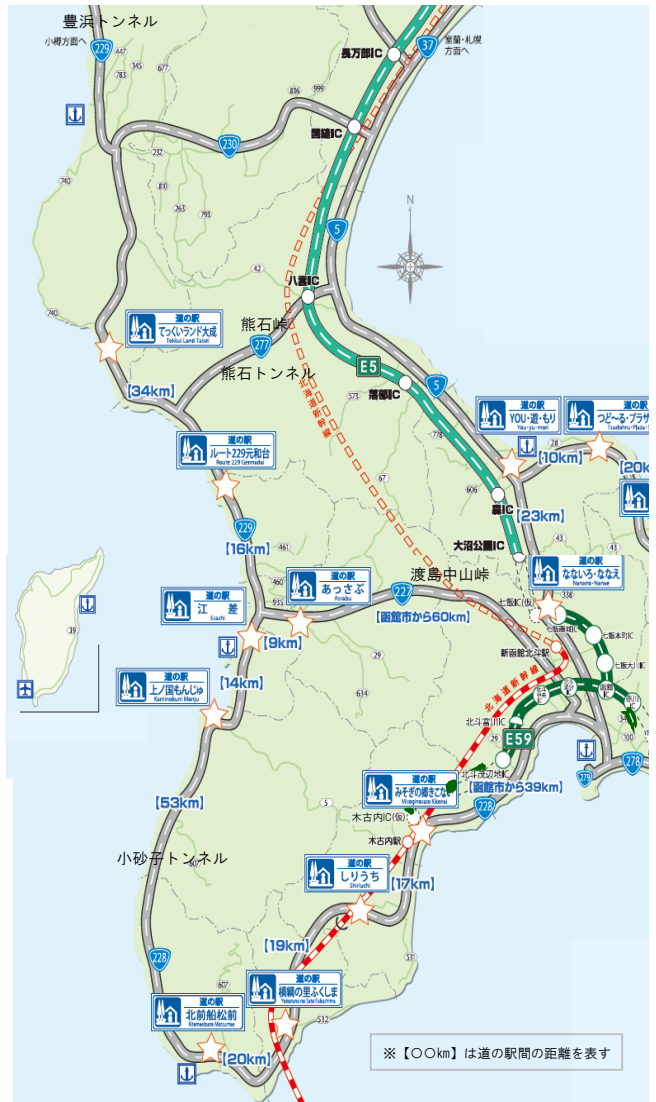
「フェリー」(奥尻港⇄江差港)

●道路の整備状況（令和3年4月1日現在）

	路線数	実延長	改良率	舗装率
一般国道	5	186.3km	100.0%	100.0%
道道	30	408.5km	89.4%	90.5%
市町村道	1,644	1,475.1km	61.3%	53.8%
合計	1,679	2,069.9km	70.3%	65.2%

「道路現況調査」北海道建設部建設政策局維持管理防災課

●国道等の状況



●主な公共交通の状況（令和5年1月末現在）

○航空機

- 奥尻⇄函館(1日1往復 所要時間30分) 金・日曜運休
- 奥尻⇄丘珠(1日1往復 所要時間50分) 金・日曜運航

○フェリー

- 奥尻⇄江差(1日1往復 所要時間2時間20分)
- ※ゴールデンウィーク・夏季は1日2往復

○路線バス

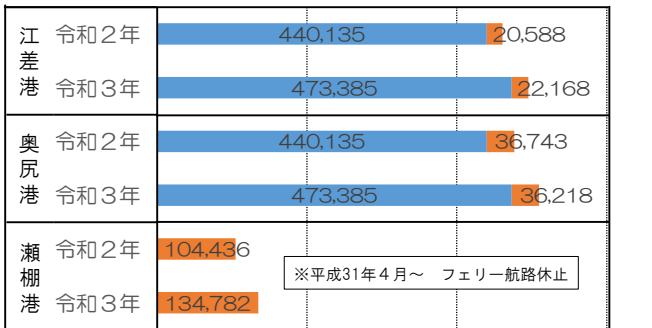
- 函館江差線〔江差⇄厚沢部⇄函館〕
 - 瀬棚線〔せたな(瀬棚区)⇄今金⇄長万部〕
 - 檜山海岸線〔江差⇄乙部⇄八雲(熊石)〕
 - 江差木古内線〔江差⇄上ノ国⇄木古内〕
 - 小砂子線〔江差⇄上ノ国⇄松前(原口)〕
- ほか

○予約バス

- 檜山海岸線〔せたな(大成区)⇄八雲(熊石)〕
- ほか

●港湾別取扱貨物量

■フェリー ■一般貨物 (トン)



0 200,000 400,000 600,000

「港湾統計」北海道総合政策部交通政策局交通企画課

●奥尻⇄函館間 航空路線旅客数

	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度
奥尻⇄函館	10,585	9,025	11,191	7,435	7,801
奥尻⇄丘珠	※令和3年7月～ 運航開始				1,676

「航空輸送統計」国土交通省

●フェリー乗降人員と車両利用台数（令和4年）

※()内は、対前年比増減

区分	乗船人員(人)		貨物(台)			
	乗船		バス	トラック	乗用車	計
江差港	21,692(+3,588)		35(+12)	4,318(+454)	3,522(+288)	7,875(+754)
奥尻港	22,004(+3,959)		35(+14)	4,291(+455)	3,474(+335)	7,800(+750)
計	43,696(+7,547)		70(+26)	8,609(+909)	6,996(+569)	15,675(+1,504)

「ハートランドフェリー(株)調べ」